

Ⅱ のり漁場に関する水産海洋研究座談会

共 催 水産海洋研究会
浅海増殖中央協議会
全国苔海貝類漁業協同組合連合会

主 題 のり漁場と海況気象との関連に関する座談会

日 時 昭和40年6月29日午前10時—午後5時

場 所 東京都港区全海苔会館

コ ン ビ ー ナ ー 齋 藤 泰 一 (東京水産大学)

水産海洋研究会と浅海増殖中央協議会及び全国海苔貝類漁業協同組合連合会との共催で実施されました。

当日は座談会形式で進められ、いろいろ今後の浅海増殖部門にとつて参考となる意見が続出した。当日の出席者は左記の通りです。

宇田道隆、片田実、新野弘、石野誠、三浦昭雄、里見雅子(以上東水大)

佐藤鉦一、田村静夫、関達哉(以上千葉県内湾水試)

須藤俊造、丸山武男、新田忠雄、平野敏行(以上東海区水研)

進士福太郎、根本順吉(以上気象庁) 吉田昭三(水路部)

福岡二郎、菱田耕造(以上気象研) 吉牟田長生、飯倉敏夫(以上農業土木研究所)

新崎盛敏(東大水産学科) 渡辺信雄(東海大) 門田定美(日本大)

長沢良助(千葉県幕張海苔研) 殖田三郎(浅海増殖中央協議会)

青柳輝雄(全海苔組合)

なお此の編集に於ては座談会の速記の一部をのせ(これは全海苔組合発行の海苔タイムスより転載させて頂きました。)又片田実氏、門田定美氏、新田忠雄氏の三氏より特別原稿を頂きましたので座談会記事と共に掲載されて居ります。(更に特別原稿がありました場合は次号に掲載の予定です。)

1 のり養殖における海洋・気象及び土木学的諸問題、特に海水の交換

片 田 実 (東京水産大学)

のり養殖業は浅海養殖のうちで生産が極めて大きいだけでなく、技術的にも高度のレベルに達していると広く評価されているらしいが、それにも拘らず最大の欠点である生産の不安定性が一向に克服されていない。その原因は「採苗・移殖・育成技術が著しく発達したのに、一方の脚である漁場の生産力から合理的行使に至る漁場環境学が発展せず、勢い採苗競争、速成・大量栽培